

出田りあマリンバ・リサイタル

ピアノ：松岡優明

1部

「マ・メール・ロフ」より……………ラヴェル（編曲：出田りあ）
眠れる森の美女のパヴァーヌ
パゴダの女王レドロネット
妖精の国
亡き王女のためのパヴァーヌ……………ラヴェル（編曲：出田りあ）
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番より
第3楽章 ラルコ★……………J.S.バッハ（編曲：出田りあ）
アヴェ・ヴェルム・コルプス★……………モーツァルト（編曲：出田りあ）
Nancy★……………エマニュエル・セジオルネ
道化師の朝の歌……………ラヴェル（編曲：出田りあ）
バレエ音楽「恋の魔術師」より 火祭りの踊り……………ファリャ（編曲：出田りあ）

2部

シチリエンス……………フォーレ（編曲：出田りあ）
レクイエム Op.48より……………フォーレ（編曲：出田りあ）
サンクトゥス
ビエ・イエズ（慈悲深き主イエスよ）
沐浴する娘たち★★……………デオダ・ド・セヴラック
ワルツ・プリランテ……………ジョージ・ハミルトン・グリーン
組曲「ボギーとベス」……………ガーシュウィン（編曲：水野久興・出田りあ）

★ マリンバソロ

★★ ピアノソロ

夏 2021 四季コンサート

2021年7月1日(木) 17:45開場 18:30開演
会場：アクトシティ浜松中ホール
主催：浜松音楽友の会
協力：ヤマハミュージックジャパン

プロフィール

出田りあ（いでたりあ）マリンバ

1982年オーストリア・ウィーンに生まれ、2歳より熊本に住む。6歳でマリンバを始め18歳で渡仏。パリ・コンセルヴァトワール、ストラスブール・コンセルヴァトワール・ソリストコースを首席で卒業。2003年第1回パリ国際マリンバコンクールで第1位を受賞。世界各地で行なわれている音楽祭に数多く出演している。ローランゼック音楽祭（ドイツ）、ザグレブ国際音楽祭（クロアチア）、サロン・ド・プロヴァンス国際音楽祭（フランス）、エバーメイ・室内楽プロジェクト（ワシントン）などに出演し、エマニュエル・パヌ、ポール・メイエ、エリック・ル・サージュ、フランソワ・ルルー、ガイ・ブラウンシュタイン、ナビル・シェハタなど世界的著名な奏者と共演。なお、クラシックの音楽祭にマリンバリストとしての出演は前例がない。2012年よりミュンヘン室内オペラ（Kammeroper Munchen）の専属アーティストとして、室内オーケストラにマリンバを加えた新しい編成で様々なオペラを上演、年間50以上に及ぶ公演をヨーロッパ各地で行い話題を呼んでいる。オーケストラとの共演は数多く、これまでにベルリン・フィルハーモニー大ホールにてベルリン・シンフォニーオーケストラと共演を重ねているほか、国内では日本フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめとするオーケストラと共演。新曲初演や委嘱活動も積極的に取り組んでいる。2014年9月にオハド・ベン＝アリ氏によって出田りあ本人のために書かれたマリンバ協奏曲の世界初演を、山田和樹指揮日本フィルハーモニー交響楽団と行ない成功を収めた。2017年ハダースフィールド国際現代音楽祭では藤倉大氏の作品を世界初演し、その演奏は英国BBCにて放送された。これまでに水野与旨久、エリック・サミュ、エマニュエル・セジオルネの各氏に師事。平成音楽大学客員教授。2021年1月よりロンドン芸術アカデミー（LPMAM）客員教授就任。ベルリン在住。

松岡優明（まつおかゆうま）ピアノ

1988年生まれ。東京都出身。5歳よりピアノを始める。東京音楽大学ピアノ演奏科コース、フライブルク音楽大学（ドイツ）同大学大学院及び国家演奏家資格過程を最優秀の首席で卒業。これまでにピアノを野島稔、エリック・ル・サージュ、デニス・パスカル、三浦捷子、村上隆、村上東子の各氏に師事。室内楽及び伴奏法をエリック・ル・サージュ氏に師事。ビティナピアノコンペティション特級、野島稔よこすかピアノコンクール、ダリアシュタインベルク国際音楽コンクール（Madrid）、日本ピアノコンクール、全日本学生音楽コンクール東京大会、コンセル・マロニエ21を始めとする国内外のコンクールに入賞および入選。関西ABC放送：「ABC新人音楽賞」受賞。日本芸術センター：「2012年度年間最優秀ピアニスト賞」受賞。現在、ソロや室内楽の演奏活動とともに、「現代ピアノ奏法」を指導、講演、SNS、メディアなどを通して積極的発信している。



出田りあ
マリンバ・リサイタル



RIA IDETA
MARIMBA RECITAL

●ラヴェル(編曲:出田りあ)／「マ・メール・ロワ」

1908年に4手ピアノのために作曲された後、管弦楽やバレエ作品にも編曲された。〈眠れる森の美女のパヴァーヌ〉は、冒頭に簡潔な楽節から始まり、次第に声部が増えて厚みを増していく。2曲目の〈パゴダの女王レドロネット〉で、軽快な旋律が活発なリズムとともに音楽を前進させると、3曲目の〈妖精の園〉では、夜明けを表す厳かな音楽のうちに緊張感の高まりをみせながら、最後は華々しい音楽で祝福が表現される。

●ラヴェル(編曲:出田りあ)／亡き王女のためのパヴァーヌ

ピアノ作品としてよく知られる作品で、1899年に作曲された。それまでのラヴェルの作風を引き継ぎながらも、5度の響きを多用するなどラヴェル後期の作風も併せもつ。美しい旋律に加えて、パヴァーヌの優雅な形式美が際立つ作品である。

●J.S. バッハ(編曲:出田りあ)／無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番より 第3楽章 ラルゴ

原曲は、イタリアの伝統的な教会ソナタ(ソナタ・ダ・キエーザ)をモデルに書かれたヴァイオリン・ソロのためのソナタ。序奏、フーガ、叙情的な緩徐楽章、速いフィナーレの全4楽章のうち、本日演奏されるのは緩徐楽章にあたるラルゴである。単純な低音の上に、感情を静かに揺り動かすような美しい旋律がのる。

●モーツァルト(編曲:出田りあ)／アヴェ・ヴェルム・コルプス

この世のものとは思えない音楽とも評される、モーツァルト最晩年の傑作。原曲は弦楽器とオルガンを伴った合唱作品である。モーツァルト作品の中で最も簡素なつくりでありながら、半音による抑揚を備え、空間を支配する静謐さと精緻な美しさが作品全体を占めている。

●エマニュエル・セジオルネ／Nancy

フランスの打楽器奏者で作曲家のセジオルネ(1961-)によって1989年に作曲されたマリンバのソロ作品。セジオルネの作品は、クラシック音楽のみならず、ダンス音楽やポピュラー音楽からの影響も織り込みながら、打楽器の可能性を拡張する音楽であるとして高く評価されている。

●ラヴェル(編曲:出田りあ)／道化師の朝の歌

スペイン風舞曲にラヴェルらしい和声感やリズムを加えた作品。はっきりとした3部形式から成り、厳密なテンポをもつ音楽とテンポを意図的に揺らす音楽とが対比的に現れる。調性をほかしながら進行したのち、最後にニ長調の主和音が明確に提示されて終わる。

●ファリャ(編曲:出田りあ)／バレエ音楽「恋の魔術師」より 火祭りの踊り

「恋の魔術師」はスペインのアンダルシア地方の民族音楽であるフラメンコに題材を得た作品で、中でも〈火祭りの踊り〉は舞台のクライマックスで行われる悪霊払いの場面で演奏される。この悪魔払いの儀式で、未亡人カンデラスは燃えたぎる炎の前で激しく踊り狂う。2拍子の躍動感ある伴奏にのせて怪しげな呪術的音楽が奏でられ、トリルが揺れる炎を表現する。

●フォーレ(編曲:出田りあ)／シチリエンス

穏やかな8分の6拍子をもつバロック期の舞曲をベースに書かれた音楽。最初は劇場用音楽として作曲されたが、その後、チェロとピアノのための作品へと編曲されたり「ベレアスとメリザンド」組曲に組み込まれたりした。現在では、フルートのレパートリーとしてよく知られている。ためらいを含んだようなリズムが象徴的な作品である。

●フォーレ(編曲:出田りあ)／レクイエム Op.48

モーツァルトやヴェルディのレクイエムが死の重さや復活を扱った作品であるのに比べ、フォーレのレクイエムは死者と残った人々への慰めと祈りの賛歌として書かれた。第3曲目〈サンクトゥス〉では、穏やかで満ち足りた響きの中に呼応し合う旋律が浮かび上がる。第4曲目に位置する〈ビエ・イエス(慈悲深き主イエスよ)〉では、洗練された旋律線を伴奏が静かに支えている。

●デオダ・ド・セヴラック／沐浴する娘たち

セヴラック(1872-1921)はフランスの作曲家で、南仏の田舎に住み続けながら、故郷の伝統音楽やフランスの地方の方言を採り入れた歌曲や合唱曲を多く残したことで知られている。1908年に作られた〈沐浴する娘たち〉は、田園風景の中で水浴びをする女性を即興的要素を織り込みながら印象主義的技法で鮮やかに描いている。

●ジョージ・ハミルトン・グリーン／ワルツ・ブリランテ

グリーン(1893-1970)は20世紀を代表する木琴奏者であり、作曲や編曲でも才能を発揮した。この作品は、ゆったりとした4分の3拍子の拍子で、しばしば現れるルバートが特徴。微細な音楽の緩急を巧みに操作する技術が求められる難曲であり、打楽器の名曲として知られる。

●ガーシュウィン(編曲:水野久興・出田りあ)／組曲「ボギーとベス」

原作はガーシュウィンの晩年に書かれたオペラ作品「ボギーとベス」で、オペラにアフリカ系アメリカ人が出演することがなかった時代にキャストのほとんどをアフリカ系アメリカ人で構成した画期的な作品。ジャズ、ブルース、ゴスペルといった黒人音楽の要素を豊富に採り入れた、力強く、自由な音楽が印象的である。

(はりうちあやこ (音楽学研究者/音楽評論家))

アンコール曲:サン＝サーンス(編曲:出田りあ)／組曲「動物の謝肉祭」より 第13曲『白鳥』